

一、各條 残存職工ヲ向フ参ケ年間絶對ニ解雇

セサルコト  
二、各條 今後工場ノ都合ト雖モ解雇者ヲ出シラハ  
場合ハ日給ハ拾日分ノ解雇手當ヲ支給

スルコト  
三、各條 右ニ各條件承諾ノ上ハ残存職工各個人ニ對  
シ證明書ヲ交附スルコト

希望 條件

一、現在 日給ノ一般三割増給スルコト  
二、各月 皆勤者ニ對シ三日分以上賞與ヲ支給ス  
ルコト

三、各月 期賞與ヲ一ヶ月以上ヲ支給スルコト以上  
右各條々ヲ懇願ス  
職工一同

大正十一年十月十三日

朝商會御中

中道報先  
由相、代表長、事務官、副代表長、  
代表長、代表長、代表長、代表長

記

行秋乙第一八三番 大正十一年十月十八日

株式会社朝日商會職工争議  
ニ因スル件 (第二報)

首題ノ件職工ノ解雇手當要求ニ對シ會社側ヨ

10.15 既報 (新聞紙第四頁)ノ処職工側ハ尙ホ之ニ満足  
セズ実行委員島田伴直外四、右ハ今夜東京致工

10.15 鐵王製鋼會本社ニ到リ懇談ヲ乞ヒタルカ翌十五日全  
會見組合ヨリ田口萬造横石信一、市村光雄ノ三名工

場ニ乘リ會社側ト會見交渉シタル如會社側ハ

窮境ヲ訴ヘ彼等ノ面目ヲ立ウル為三週間分ヲ  
支給スルコトニ讓歩セルニ田口等ハ職工側ノ